

人権教育を通じて育てたい資質・能力

資質・能力の獲得へ向けての本校のアプローチ（※○の数字は、人権教育を通じて育てたい資質・能力）

子ども達に現在どのような欲求があり、それに対してどんなアプローチをしていけばいいのかが分かるようになり、全教職員で共通理解を図っている。欲求表は児童から見た表と教職員から見た表の2つがある。

※必ずしも上の欲求レベルが高いという訳ではない。例えば、6年生が「全校のために何かしたい!」という一番上の成長欲求に関わることをすることによって、「ほめられた。」「みんなと一緒に遊びたい。」といった欠乏欲求が満たされる場合もある。

子ども達が「こころの欲求表」の中のどの欲求を持っているのかを理解するために、「個人に関する質問」についてタブレットを用いてアンケートを行っている。このアンケートの content と「こころの欲求表」はリンクしており、より確実に児童理解が図れると考える。

資料①



- ① こころアンケート (ダブルレット) **個人に関する質問**
- 1 **家は楽しいですか** (安全欲求を支える生理的欲求の確認)。
 - 2 **学校は楽しいですか** (いやなことを言われたりされたりしていないかの確認)。
 - 3 **素直に人の話を聞いていますか** (古定的な事を言っていないかの本人確認)。
 - 4 **みんなといっしょに活動したいですか** (所属に関する欲求の確認)。
 - 5 **みんなといっしょに活動するとき、居心地がいいですか**
(いやなことを言われていないか/されていないか・所属に関する欲求の確認)。
 - 6 **先生や板たち、おうちの人からほめられることがありますか** (承認欲求の確認)。
 - 7 **よりよい自分になるために、チャレンジしていることがありますか**
(・・・もっと難しい問題を解きたい、もっと気持ちのよいあいさつをしたい
・チャレンジしたい・自分を高めたい気持ちに燃じての確認)。

(3) アンケートをもとにホワイトボードでの確認と取組・・・⑧⑩(資料③ホワイトボードの画像)

円グラフをもとに、6年生や教職員がそれぞれのアンケート結果の項目に対して、ホワイトボードに書き込みを行い、学校全体の課題を確認したり呼びかけたりする。そして、他の学年の児童は、自分達の思いや行動などを自由に書き加えることができるようにして、学校を作っている一員として参加できるようにしている。

・児童朝会を開く・・・⑬(資料④なかよし班話し合いカード)

月に一度、6年生がアンケート結果をもとに、「全校で話し合いたい事」を考え、なかよし班ごとに話し合いを行う。その結果などを踏まえて、再びホワイトボードに書き込んだり、様々な主体的な活動につなげたりする。

・委員会で行動する・・・⑬

「運営委員会で週目標を考える」「情報委員会でよい行いをしている児童を発表する」など自分達でできる行動について考え、実践していった。

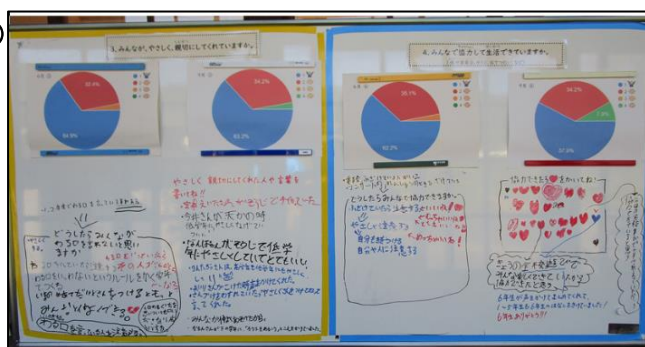
・全校遊びを企画する・・・⑮⑰（資料⑤全校遊び計画書）

6年生が、「みんなが楽しく遊べるために」どうするのかを考え、「ルールを守って遊ぼう」⑩、「チームで協力しよう」⑪、「友達の気持ちを考えて遊ぼう」⑫、などとめあてを立てて全校遊びを行う。活動中は、全校でそのめあてを意識して活動を行う。その後は、遊んだ時の感想やルールが守れたかなどのアンケートを行い、次の活動に生かしたり、自分達の活動にやりがいを感じたりすることができる。

・臨時の代表委員会を開く…⑩

臨時で話し合いたいことがある時には、どの学年の発案でもいいので臨時の代表委員会を開くことができるようにしている。※「誰かだけでなく平等に、昨年度の臨時の代表委員会より

資料③



資料⑤

第3回全校遊びについて

1 めあて

友達のことを考えて遊ぶほう

2 日時・場所
11月27日(水) 14:15
13:30までに体育館になかよし組ごとに整列する。
※給食を早めに済ませて来てください。

3 遊びについて
「ドッジボール」

理由
同じチームにやさしくするけど相手のチームにもやさしくする。

4 活動の流れ
始めの言葉(3分) めあてを確認する。
遊び(10分)
コートチェンジ 当てられていた人は復活
遊び(10分)
ふり回り(5分) めあてが守られていた人を発表する。

5 ルールについて

なげてない人にあげる。 ボールをもらったるなげる(よくみてもらう)
相手にあててはげさくはなさん。 相手をあてると相手ははなれよう。

資料④

[illegible]

(4) なかよし班で掃除を行う・・・⑧⑬(資料⑥なかよし班そうじ反省カード)

学年の枠を超え、それぞれがリーダーシップやフォロワーシップを意識しながら、助け合いや認め合い、自分の使っている学校をきれいにしようとしている。



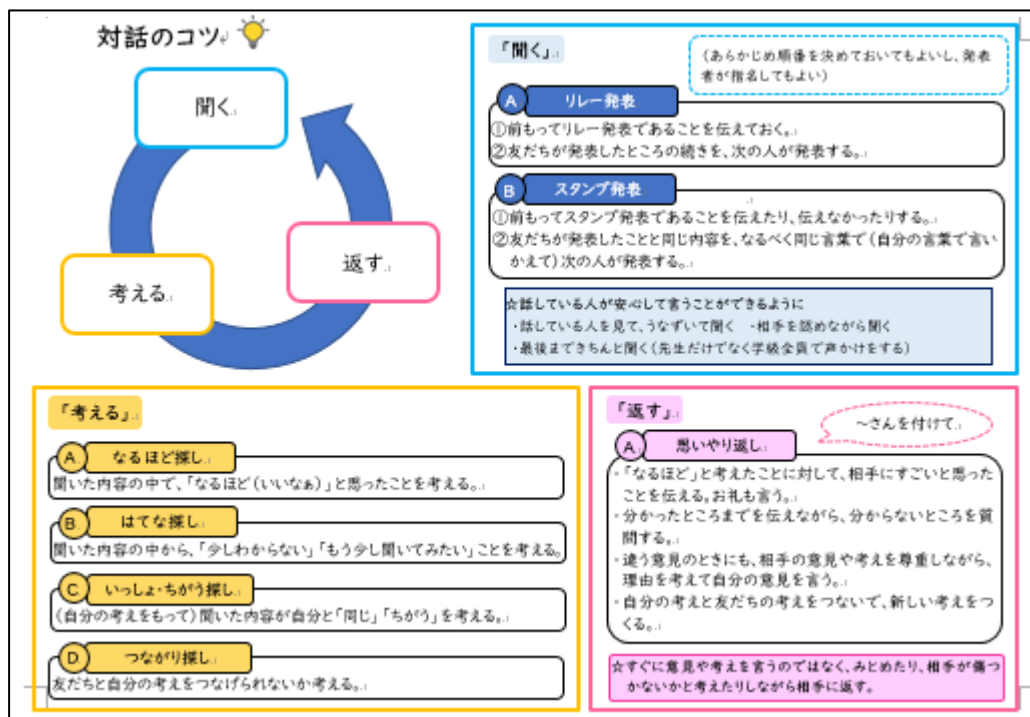
資料⑥

みんなで協力してそうじをして学校をピッカピカにしよう！！	
時間	児童の活動
13時30分	・予備でせいそう場所に移動する。
13時35分	・はじめのあいさつをする。
	班長「これからそうじを始めます。今日のめあては『〇〇〇〇』です。」
	・「いっしょにする」「できていない人を手伝う」「きれいにする」など、「協力」「やさしさ」「きれい」などのキーワードからめあてを考えて言う。
	・そうじを始める。
13時47分	・情報委員会の放送で、片付けと反省をする。
	班長「これからそうじの反省を始めます。」
	班長「協力してくれた人・親切にしていた人・がんばっていた人を発表しましょう。」
	一人ずつ発表(自分以外の人をしようかいる。合わせて自分のがんばりを言ってもよい)
	「〇〇さんです。理由は～からです。」
	「〇〇さんは～をがんばっていました。わたしも〇〇さんと同じで、～をがんばりました。」
	班長「今日のそうじは〇〇マークでした。理由は～からです。～はよかったです。」
	(～をがんばっていた、～が親切にしていた、～は手伝ってくれたなど)
	明日は〇〇をがんばりましょう。(よいところと課題の両方を言う)
(13時55分)	・〇〇が次の日のめあてになる。
	・先生の話を聞く
	班長「これで掃除を終わります。ありがとうございました。」
	(授業開始)

(5) 相手を意識した発表の仕方を共通理解・・・⑧(資料⑦対話のコツ・はなしあいのコツ)

対話を「聞く」「考える」「返す」に分け、それぞれの場面でどうしたら相手とつながることができるのかを書かれたカード(上学年用・下学年用がある)をもとに発表を行うようにしている。全教職員で共通理解を図った上で、それぞれの学年に合った取組をしている。

資料⑦



成果について

(1) 休み時間の子ども同士の関わり方が変わった

休み時間において、子ども同士の関わり方に大きな変化が見られるようになってきた。

2年ほど前までは、上学年が自分達だけが得になるようなルールを作って遊んでいた。その結果、下学年は楽しんで遊ぶことができず、学年ごとに固まって遊ぶ傾向が見られていた。

しかし、最近は、異学年が混ざって遊んでいる場面が多く見られるようになった。また、一人一人が「ルール」や「マナー」を大切にしながら遊ぼうとしている姿も見られている。これらのことから、それぞれが相手を大切に「みんなで遊ぼう・楽しもう」とする意識が高まってきたと考えられる。

(2) 学校の主役が「子ども」になった

「自分たちの学校は自分達でよくしていく」という意識を子ども達にもたせたり、主体的な活動を増やしたりすることにより、楽しみながら意欲的に活動に取り組む児童が増えた。主体的な活動の後には、しっかり振り返りをする機会も設けるようにした。これにより、上手くいかなかった時には理由を話し合い、さらに成功するための方策をみんなで考えることもできるようになってきた。また、上手くいった時には自己肯定感の高まりも見られた。

(3) 児童の活動や気持ちがより可視化されるようになってきた

「こころアンケート」と「こころの欲求表」を合わせて活用することで、教育相談・ケース会、クラスの状況を改善したい時等に、子ども達の欲求に合わせた効果的な話や目標の設定などができるようになってきた。

また、積極的にホワイトボードを活用することにより、全体で取り組んでいくことが可視化され、意識が同じ方向に向きやすくなった。さらに、異学年への感謝の言葉などの書き込みが増え、普段直接言いにくい気持ちなども伝えることができ、その気持ちを受け取った方も温かい気持ちになった。



資料①こころ部会

おわり（単元・1単位時間）

学習

子ども達にかかわる欲求

友だちや地域のために何かしたい

生活

チャレンジしたい

もっと難しい問題をしたい もっと自分らしく上手に生活したい

ほめられたい・認められたい・尊敬されたい

仲間になりたい

話したい

みんなと一緒に遊びたい

ルールを知りたい

否定的なことを言われたい

悪口を言われたい・攻撃されたい

児 童 理 解

3月

はじめ

4月

成長欲求

欠乏欲求

○段階別に分けているが、必ずしも上の欲求のレベルが高いという訳ではなくて、子ども達自身が自分の現状や多様性を意識しながらめあてをもって生活している。

○安全・安心な学級（学校）の中で、友達と活動していきたいという気持ち。

○よかったことのみを認められるのではなくて、児童自身やその考え方を認めたりほめたりされている。（その考えいいね。）

○成長欲求では、どんな自分になりたいのかを意識し活動し、その後自分の成長に気付いたり実感したりしている。

おわり（単元・1 単位時間）

教職員にかかわる実践例

3月

学習

友達や地域のために行う活動を企画

生活

チャレンジできるように

導入の工夫・チャレンジ問題 「本気でがんばること」の活用

ほめる・認める・多様性を大切にする

仲間づくり

話し合い活動の充実

クラス遊びや全校遊び

ルールがはっきりしている

否定的な意見をなくす働きかけ

悪口や攻撃に対して話し合わせる

はじめ

4月

児 童 理 解

○どの段階でも学級活動や総合学習、代表委員会、全校朝会、1 単位時間のなかなどで、**子ども達が主体となった話し合い活動**が必要。

○子ども達の欲求が現在どこにあるのかというイメージを全職員で共有することで、成長欲求の部分である育てたい子ども像に近づいていけるようにする。（**価値観の押しつけはしない。個人の差など多様性に配慮は必要。ただしルールははっきりさせておく。**）

○児童理解に関しては、1 年を通じて普段の見取りや月に一度の「こころアンケート」によって児童の様子を把握する。また、1 単位時間・1 単元の中で児童の成長を把握していく。これらから、それぞれの児童が現在**どの段階の欲求があるのかを把握**しておく。

○アウトプットとして、ホワイトボードに児童の欲求に対する満足度など意識の変化が分かるようにグラフを掲示したり、自分たちの現状や理想の学校（自分）に近づけるための考えが書き込めたりできるように工夫する。

資料② こころアンケート（タブレット）個人に関する質問

- 1 家は楽しいですか（安全欲求を支える生理的欲求の確認）
- 2 学校は楽しいですか（いやなことを言われたりされたりしていないかの確認）
- 3 素直に人の話を聞いていますか（否定的な事を言っていないかの本人確認）
- 4 みんなといっしょに活動したいですか（所属に関する欲求の確認）
- 5 みんなといっしょに活動するときに、居心地がいいですか
（いやなことを言われていないかされていないか・所属に関する欲求の確認）
- 6 先生や友だち、おうちの人からほめられることがありますか（承認欲求の確認）
- 7 よりよい自分になるために、チャレンジしていることがありますか
・・・もっと難しい問題を解きたい、もっと気持ちのよいあいさつをしたい
（チャレンジしたい・自分を高めたい気持ちに関しての確認）

8 みんなのために、すすんで何かをしていますか

（自分以外の友だち・下級生・地域のために意識がむいて実践しているかの確認）

9 友だちにやさしくしていますか（様々な段階での確認）

学校に関する質問（アンケート結果は、円グラフに表し、経過が分かるようにする・個人に関する質問がよくなってくれば、こちらの質問への回答も連動してよくなる）

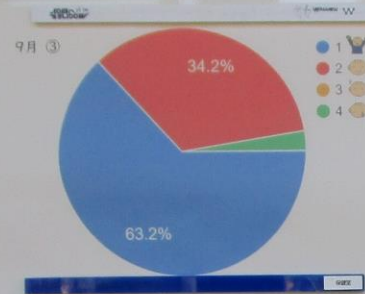
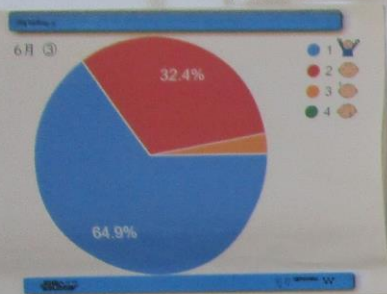
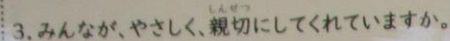
1 みんなは、ルールやマナーが守れていますか

2 みんなが、休み時間に楽しく遊んでいますか

3 みんなが、やさしく親切にしてくれていますか

4 みんなで協力して生活できていますか・・・休み時間、授業での話し合いなど

資料③ホワイトボードの画像



-1,2年生でわさ口を言っている事がある

どうしたみんなが
わる口を言わないと思
いますか？

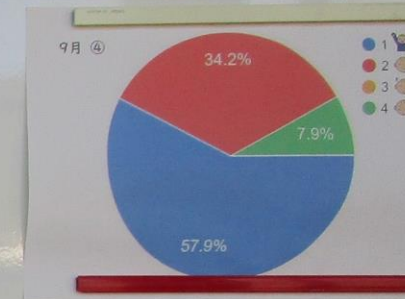
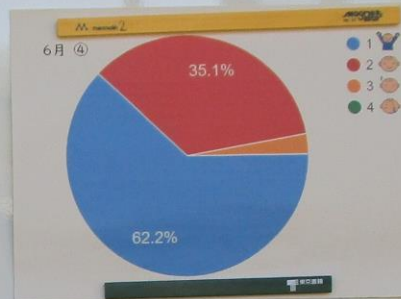
わる口をいっていた人達、
その人達には
わる口をいれないというルールをかく学年
でつくる
いじめをなくしたいとみんなをつけると、
みんながいじめをなく
するのをいじめをなく
したいとみんなが
いじめをなく
したいとみんなが

やさしく親切にしてくれた人や言葉を
書いてね!!

- ・宮本さん、えいたくんがそうじで手伝っていた。
- ・今井さんが、天かの時、
低学年にやさしくして、
「いい」
- ・なんぼんが、そうじで低学
年にやさしくして、とてもいい。
みんな、高学年と低学年にもやさしく
して、「いい」
- ・まゆみさんが、けいさくを助けてくれた。
さんアゲをわすれていた、やさしく文をゆだねて
言ってくれた。
- ・みんなが、仲よくあそびたから。
- ・かもんさん、6下の学年に、「ろう下をあらう」といって、おかけしてました。

4. みんなで協力して生活できていますか。

(係や委員会、そうじ、おてつだい など)



・年齢、ふざけている人がいる。
・ワンサーの、丸いお尻が可愛い。だいたい

どうしたらみんなで協力できるか？
ふざけているら注意する女！！いいね！

やさしい注意する
自分をもっと上げる
自分や人に注意する

←あんなにいいね
↑とてもいいね
←めっちゃいいね！

— 協力できたら をかいてね。

キョウの全校交流で
みんな楽しくできていたから
協力できたと思う

6年生が声をかけてまとめてくれて、
1~5年生も6年生のはなしをきけていました！
6年生ありがとう!!!

ついでにきていこうと思う

資料④なかよし班話し合いカード

なかよし班話し合いカード

A 班

テーマ「みんながいっしょにあそべるあそびって？」

9月は猛暑だったり、運動会の練習があったりして、外で遊べない日が多かったですね。

10月は外で遊ぶ時間が増えます。もし学年関係なく、38人がみんなで遊べたら、もっとなかよしの絆立小学校になると思います。今日は、「みんながいっしょに遊べる遊びってどんな遊びか」を話し合いたいと思います。

どんな遊びだったら、「入りたい!」と思いますか? (遊びの種別でも勢揃いでもいいよ)

てんか、ドッジボール、おおなわ、ケイトウ
おにごっこ、かくれんぼ、じんとり

学年など関係なく、みんながいっしょに遊ぶには、どうしたらいいですか?

- ・ やすりあいをする、勝ち負け関係なく、
- ・ 下の学年にやさしくする、うそをつかない
- ・ ルールを守る、さんづけをする、
- ・ けんかをしない、わる口をいわない
- ・ 仲まとかたまらない、ずるをしない

なかよし班話し合いカード

E 班

テーマ「みんながいっしょにあそべるあそびって？」

9月は猛暑だったり、運動会の練習があったりして、外で遊べない日が多かったですね。

10月は外で遊ぶ時間が増えます。もし学年関係なく、38人がみんなで遊べたら、もっとなかよしの絆立小学校になると思います。今日は、「みんながいっしょに遊べる遊びってどんな遊びか」を話し合いたいと思います。

どんな遊びだったら、「入りたい!」と思いますか? (遊びの種別でも勢揃いでもいいよ)

- おにごっこ ○ ドッジボール ○ かくれんぼ
- 色おに ○ かべおに ○ かんけり
- できない人でもできる達者な
- チームでできる達者な

学年など関係なく、みんながいっしょに遊ぶには、どうしたらいいですか?

- ルールをまもって達者な。
- いろいろな人と達者な。
- ルールを工夫する。

資料⑤全校遊び計画書

第3回全校遊びについて

1 めあて

友達の気持ちを考えて遊ぶ

2 日時・場所

11月27日(水) Lタイム

13:00までに体育館になかよし班ごとに整列する。

※給食を早めに済ませて来てください。

3 遊びについて

「ドッジボール」

理由 同じチームに やさしくするけど相手のチームにもやさしくする。

4 活動の流れ

始めの言葉(3分) めあてを確認する。

遊び(10分)

コートチェンジ 当てられていた人は復活

遊び(10分)

ふり返り(5分) めあてが守れていた人を発表する。

5 ルールについて

なげてない人にあげる。 ボールをもらったるなげる(とられてもいい)
相手にあわせてなげる強さをかえる。 相手をあおるす、味方をほめよう。

資料⑥なかよし班そうじ反省カード

みんなで協力してそうじをして学校をピッカピカにしよう！！

時間	児童の活動
1 3時30分 1 3時35分	・予れいでせいそう場所に移動する。 ・はじめのあいさつをする。 班長「これからそうじを始めます。今日のめあては『〇〇〇〇』です。」 ・「いっしょにする」「できていない人を手伝う」「きれいにする」など、「協力」「やさしさ」「きれい」などのキーワードからめあてを考えて言う。 ・そうじを始める。
1 3時47分	・情報委員会の放送で、片付けと反省をする。 班長「これからそうじの反省を始めます。」 班長「協力してくれた人・親切にしていた人・がんばっていた人を発表しましょう。」 一人ずつ発表（自分以外の人をしょうかいする。合わせて自分のがんばりを言ってもよい） 「〇〇さんです。理由は～からです。」 「〇〇さんは～をがんばっていましたが、わたしも〇〇さんと同じで、～をがんばりました。」 班長「今日のそうじは〇〇マークでした。理由は～からです。～はよかったです。」 （～をがんばっていた、～が親切にしていた、～は手伝ってくれたなど） 明日は〇〇をがんばりましょう。」（よいところと課題の両方を言う）
（1 3時55分）	・〇〇が次の日のめあてになる。 ・先生の話聞く 班長「これで掃除を終わります。ありがとうございました。」 （授業開始）

マーク

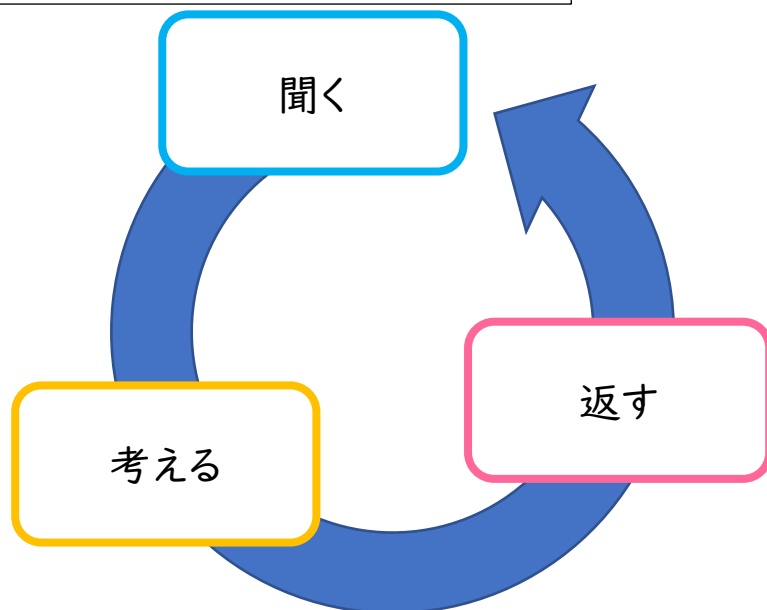
すごい！

しょぼん

顔のマーク(イラスト)があります。

にっこり

資料⑦ 対話のコツ💡



「聞く」

(あらかじめ順番を決めておいてもよいし、発表者が指名してもよい)

A

リレー発表

- ①前もってリレー発表であることを伝えておく。
- ②友だちが発表したところの続きを、次の人が発表する。

B

スタンプ発表

- ①前もってスタンプ発表であることを伝えたり、伝えなかったりする。
- ②友だちが発表したことと同じ内容を、なるべく同じ言葉で(自分の言葉で言いかえて)次の人が発表する。

☆話している人が安心して言うことができるように

- ・話している人を見て、うなずいて聞く
- ・相手を認めながら聞く
- ・最後まできちんと聞く(先生だけでなく学級全員で声かけをする)

「考える」

A

なるほど探し

聞いた内容の中で、「なるほど(いいなあ)」と思ったことを考える。

B

はてな探し

聞いた内容の中から、「少しわからない」「もう少し聞いてみたい」ことを考える。

C

いっしょ・ちがう探し

(自分の考えをもって)聞いた内容が自分と「同じ」「ちがう」を考える。

D

つながり探し

友だちと自分の考えをつなげられないか考える。

「返す」

～さんを付けて

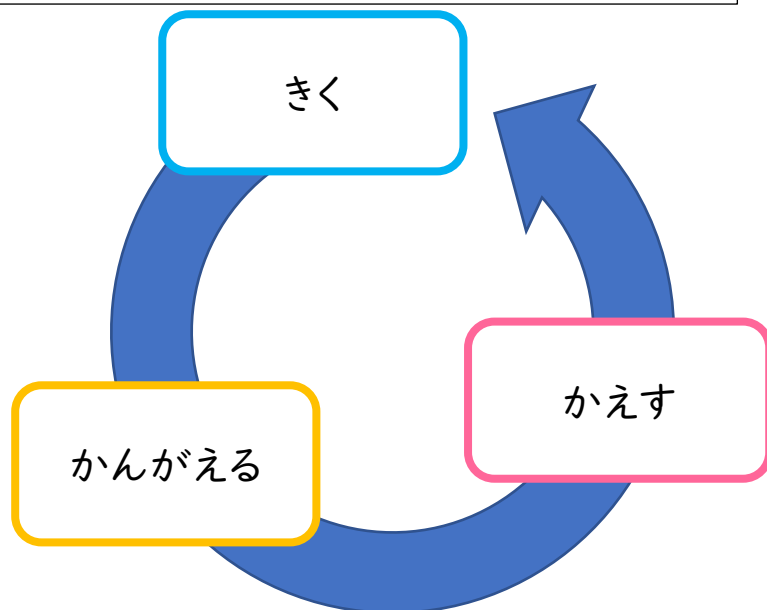
A

思いやり返し

- ・「なるほど」と考えたことに対して、相手にすごいと思ったことを伝える。お礼も言う。
- ・分かったところまでを伝えながら、分からないところを質問する。
- ・違う意見のときにも、相手の意見や考えを尊重しながら、理由を考えて自分の意見を言う。
- ・自分の考えと友だちの考えをつないで、新しい考えをつくる。

☆すぐに意見や考えを言うのではなく、みとめたり、相手が傷つかないかと考えたりしながら相手に返す。

資料⑦ はなしあいのコツ💡



「きく」

A リレーはっぴょう

ともだちがはっぴょうしたところのつづきを、つぎの人がはっぴょうする。

B スタンプはっぴょう

ともだちがはっぴょうしたこととおなじなように、できるだけおなじことばで（じぶんのことばでいいかえて）つぎの人がはっぴょうする。

☆はなしている人があんしんして、はっぴょうできるように

- ・はなしている人を見て、うなずいてきく
- ・それも「いいね」とおもいながらきく
- ・さいごまできちんときく

「かんがえる」

A なるほどさがし

ともだちのはっぴょうの中で、「なるほど（いいなあ）」とおもったことをさがす。

B はてなさがし

ともだちのはっぴょうをきいて、「すこしわからない」「もうすこしきいてみたい」ことをさがす。

C いっしょ・ちがうさがし

ともだちのかんがえをきいて、じぶんと「おなじ」や「ちがう」ところをさがす。

D つながりさがし

ともだちとじぶんのかんがえをつなげられないかかんがえる。

「かえす」

～さんを付けて

A おもいやりがえし

- ・みつけた「なるほど」をともだちにつたえる。（「〇〇がいい（すごい）とおもいました。」）
- ・わかったところまでをつたえて、わからないところをしつもんする。
- ・ちがういけんのときにも、あいてのかんがえをたいせつにしながらじぶんのいけんをいう。
- ・じぶんのかんがえと、ともだちのかんがえをつないで、あたらしいかんがえをつくる。

☆すぐにじぶんのかんがえをいうのではなく、みとめたり、ともだちがきずつかないか、かんがえたりしながら、あいてにつたえる。